

キリスト教の探求

1 度きりの人生 : 何のためにあるのだろうか？

目次

- セッション 1** 福音：
私たちはここで何をしているのだろうか？
- セッション 2** アイデンティティ：
イエスはいったい誰なのか？
- セッション 3** 罪：
なぜイエスは来たのか？
- セッション 4** 十字架：
なぜイエスは死んだのか？
- セッション 5** 復活：
なぜイエスはよみがえったのか？
- セッション 6** 恵み：
神はどのようにして私たちを受け入れるのか？
- アウエーデー** 種を蒔く人：耳を澄まして
ヤコブとヨハネ：腰を低く
ヘロデ：賢く選択
- セッション 7** 来て死ぬこと：
イエスに従うことは何を意味するのか？
- エキストラ** マルコの福音書は信用できるのか？

ようこそ！

7回のセッションを通して、キリスト教の本質にせまる3つの質問（イエスは誰なのか？彼はなぜ来たのか？彼に従うことは、何を意味するのか？）を学んでいきましょう。

どんな質問でも安心して問いかけてください。また、学びに来られないようなことがあっても、毎回、前回の復習をしてから始めますので、心配しないでください。

福音（良い知らせ）

私たちが見ていくこと



【調べる】

- ひとつだけ神に質問ができ、神がその質問に答えると約束したなら、あなたはどのような質問をしますか？

【聞く】

「…イエス・キリストの福音のはじめ。」 マルコ 1:1

メモ

- 1 私たちの周りにある大自然の美しさや人間の身体的设计を見たときに、これらはすべて偶然にできたのか、もしくは誰かが創造したのだろうか、という質問が思い浮かびます。
- 2 聖書には、私たちの住む宇宙を、また私たちが宿っている身体を、神が創造したと書いてあります。では、どのようにこの神を知ることができるのでしょうか？
- 3 私たちはイエス・キリストを見ることによって、神を知ることができます。
- 4 キリスト教とは、キリストについてのことで、キリストとは「神に選ばれた唯一の王」という意味です。
- 5 キリスト教は「福音」です。「福音」とは、イエス・キリストについての「良い知らせ」という意味です。
- 6 イエスが洗礼を受けたとき、父なる神は「あなたは、わたしの愛する子」と宣言しました。
- 7 神は歴史の中で、イエス・キリストを通してご自身を明かされました。イエスを見たとき、神についてが明確になります。

【話し合う】

- イエスについて興味を持つこと、もしくは疑問に思うことはありますか？

□マルコの福音書を読むことを、どう思いますか？

聖書の専門用語

福音：良い知らせ

キリスト・メシア：神が世に送ると約束された、神に選ばれた唯一

の王

預言者：神のメッセンジャー

洗礼・バプテスマ：罪からの悔い改めと内から清められることへの象徴として水に浸かること。

悔い改め：思考と目的の変化。個人的に神に立ち返ること。

聖霊・御霊：神は一人であり三つの人格である。父なる神、子なる神（イエス）そして、聖霊なる神

フォローアップ

セッションとセッションの間に、マルコの福音書を数箇所ずつ見ていきます。セッション□が終わる頃には、マルコの福音書を読み終わる計算です。読む内容を理解するために、次の質問を用いてください。最後に、次回話し合いたいことや、質問したいこと、気になる点などを書き込むスペースがあります。

○マルコの福音書 1:1－20 を読んでください

1. 「福音」という言葉は「良い知らせ」という意味です。マルコはこの良い知らせについての彼の本をイエスに関する三つの説明で始めます。

- a) 旧約聖書の預言者（メッセンジャー）を通して(マルコ 1:2-3)
- b) バプテスマのヨハネを通して(マルコ 1:7)
- c) 神ご自身を通して(マルコ 1:11)

各箇所はイエスについて何と言っていますか？

a)

b)

c)

○マルコの福音書 1:21－2:17 を読んでください。

2. イエスは 1、2 章を通し、色々な場面でその主権を見せます。(マルコ 1:16-20, 21-22, 23-28, 40-45、2:1-12) イエスが話したとき、もしくは行動したとき、どのようなことが起こりましたか？

○マルコの福音書 2:18-3:6 を読んでください。

3. 早い時期から、イエスに関しての人々の意見は分かれていました。ある人は驚き、ある人は怒りました。
この時点でのあなたのイエスに対する印象はどうですか？

マルコの福音書 1:1-3:6 から質問はありますか？

れを読みつつ、マルコの 4:35-41 との共通点を探してみましょう。

どのような共通点がありましたか？

4. 歌と物語とでは、終わりが違います(詩篇 107:30 とマルコ 4:41 を比べてください)。なぜ弟子たちは、嵐が静まってもなお恐れていたのでしょうか？

【聞く】

「風や湖までが言うことを聞くとは、いったいこの方はどういう方なのだろうか。」(マルコ 4:41)

メモ

- 1 イエスのアイデンティティを理解することは重要です。そうでなければ、彼との関係が間違っただものとなってしまいます。
- 2 マルコは次のことを通してイエスのアイデンティティを明らかにしました。
 - 教えに対する権威・力
(マルコ 1:21-22)
 - ② 病気に対する権威・力
(マルコ 1:29-31,32-34,3:22)
 - ③ 自然に対する権威・力
(マルコ 4:35-41,詩篇 107:23-31)
 - ④ 死に対する権威・力
(マルコ 5:21-24,35-43)
 - ⑤ 罪の赦しに対する権威・力
(マルコ 2:1-12)
- 3 神の子として、また神に選ばれた唯一の王として、イエスは神の権威と力を持って行動しました。

聖書の専門用語

弟子：イエスに従い、彼から学び

、彼の宣教の目撃者となるよう呼ばれた者たち。

安息日：休み。神を楽しむために設けられたユダヤ教の聖日。

罪：神に対する反逆。思考、発言、行動の失態。

冒瀆：偽った神理解。神の名や人格をみだらに扱うこと。

人の子：旧約聖書のダニエル書からくる言葉であり、その書の中で、人の子は天から来られ、全世界に対する永遠の主権を得る。イエスは度々、ご自分を指してこの名称を用いた。

【話し合う】

□イエスが主権を持っていることについてマルコが書いた証拠をあなたはどのように思いますか？

□あなたはイエスが誰であると思いますか？

フォローアップ

セッションとセッションの間に、マルコの福音書を数箇所ずつ見ていきます。セッション□が終わる頃には、マルコの福音書を読み終わる計算です。読む内容を理解するために、次の質問を用いてください。最後に、次回話し合いたいことや、質問したいこと、気になる点などを書き込むスペースがあります。

○マルコの福音書 3:7-5:43 を読んでください

1. この箇所ではマルコはイエスが行った4つの奇跡を記しています

。

- a)嵐を静めた(4:35-41)
- b)悪霊につかれた人を癒した(5:1-20)
- c)病気の女性を癒した(5:25-34)
- d)死んだ少女を生き返らせた(5:35-43)

これらの出来事を通して、イエスは何に対する権威を表しましたか？

- a)
- b)
- c)
- d)

今までに学んだイエスの権威・力とは別に、イエスの主権についてここから新たに分かることはありますか？

2. 娘が亡くなったとき、ヤイロはすべての希望が失われたようでした。(5:35)そんなヤイロに、イエスはどのように言いましたか？(36)

それは適切な要求だと思いますか？

3. 4つの出来事を再度見てください。人々はどのようにイエスに応答しましたか？次の箇所を見て答えましょう。

- a)マルコ 4:40-41

b)マルコ 5:15

c)マルコ 5:27-28,34

d)マルコ 5:42

これらの反応の中に、あなたがするであろう反応と似たものはありますか？

マルコ 3:7-5:43 から質問はありますか？

前回の復習

前回、私たちはイエスがキリスト(神に選ばれた唯一の王)であり、神の子であることを学びました。10 ページに前回の短いまとめがありますので見てみましょう。今回のセッションではマルコがイエスの来た理由について何と言っているかを見ていきましょう。

罪

なぜイエスは来たのか？



【調べる】

- 前回のフォローアップから発生した質問を話し合しましょう。
- マルコ 2:1-12 を見て、下の問いに答えましょう。

1. 群衆がイエスの話を聞きに集まりましたが、それはなぜでしょうか？このとき、イエスはどのような評判を持っていましたか？
(参照：マルコ 1:27-28、32-34、45)

2. なぜ、四人の友は中風の人をイエスのもとに連れてきたと思いますか？

3. イエスが中風の人に対して、初めに言った言葉は何ですか(2:5)？この言葉についてどのように思いましたか？

4. なぜ律法学者たちはイエスの言った言葉に腹を立てたのでしょうか？(2:6-7)

5. 彼らの結論は正しかったと思いますか？

6. イエスに罪を赦す権威があることをイエスはどのように表しましたか？(2:8-12)

【聞く】

「わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」(マルコ 2:17)

- 1 世界があるべき姿でないのは、私たちがあ
るべき姿でないからです。
- 2 イエスは「罪」が「内」から、「心」
から来ると言いました。(7:20-22)
- 3 私たちの心はみな病んでいます。私
たちは世界を、また自分自身を、ま
た神までを恥すべき方法で扱います
。
- 4 私たちは神を心と思いと知性を尽く
して愛すべきですが、これをするこ
とができません。
- 5 私たちは、私たちを愛し造られた神
に反逆しています。これを聖書は「
罪」と呼びます。
- 6 イエスは私たちの心を癒すため、罪
をゆるすために来ました。自分を義
人と思う人のためでなく、自分が罪
人であると気が付いている人のため
に来たのです。
- 7 イエスは私たちが地獄に行くことを
願わないので、愛を持って、地獄に
ついて警告します。気付いていよう
がなかろうが、罪によって、私たち
は危険な状態にいるのです。

聖書の専門用語

魂：私たちの永遠に存在する部分。

罪人：罪を犯すもの(私たちすべて)。12 ページの罪を参照

パリサイ派:ユダヤ教の宗教家。

義:神と正しくあること。

【話し合う】

□マルコ 9:43-47 を読んでください。地獄からの回避の必要性を語る
るとき、なぜイエスがこのような過激な表現を用いたと思いますか
？

□イエスは地獄の存在を信じていました。私たちは信じるべきでし
ょうか？なぜ、そのように思いますか？

□あなたのすべての考え、発言、行動が今、皆の前に公表されるこ
とを想像してください。どのような気持ちになりますか？

フォローアップ

読む内容を理解するために、次の質問を用いてください。最後に、次回話し合いた
いことや、質問したいこと、気になる点などを書き込むスペースがあります。

○マルコの福音書 6:1-8:29 を読んでください

1. 1-5章でマルコはイエスの力と権威を明らかにしました。また、さまざまな奇跡を紹介しました。(病の癒し、悪霊の除霊、死者の復活、嵐の沈静)

今日の箇所(6:1-8:29)は、今まで学んできた以外に、新たにどのようなことが分かりましたか？(参照：6:32-44,47-48、7:31-37、8:1-10,22-26)

2. マルコ 6:34 でイエスは群集を「羊飼いのいない羊」のように思いました。それに対して、イエスは何をしましたか？

イエスが現代の忙しい街の人々の表情を見たなら、どのように感じるとおもいますか？

あなたはイエスをあなたの羊飼いとして必要だと思えますか？

3. イエスの教えと奇跡に対する人々のさまざまな反応を書き出し

てください。

a) 郷里の会堂にて(6:1-6)

b) 人々全般(6:14-15,53-56; 7:37)

c) 弟子たち(6:51-52)

d) 宗教家たち(8:11)

なぜ、人々はこのような違った反応をされると思いますか？

□ これらの中で、あなたが共感する人々はいますか？

4. マルコ 8:29 にあるイエスの質問を読んでください。このコースを始める前に聞かれたのなら、あなたは何と答えたと思いますか？

□ マルコの福音書を半分まで読み、またイエスが話したことや行った驚くべきことを読んできた今、イエスに対するあなたの考えは変化しましたか？

□ もし、イエスのアイデンティティに関する質問で解決していないものがあったら、ここに書いてください。

□ マルコ 6:1-8:29 から質問はありますか？

前回の復習

前回、私たちはイエスが私たちの心の病（罪）を癒すために来られたことを学びました。16 ページに前回の短いまとめがありますので見てみましょう。
今回のセッションでは、なぜイエスが死ななければならなかったのかを見ていきましょう。



十字架

イエスはなぜ死んだのか？

【調べる】

- 前回のフォローアップから発生した質問を話し合しましょう。
- マルコ 8:22-33 を見て、下の問いに答えましょう。

一般的に、現代の人々はイエスをどのような人だと考えていますか？また、何を根拠に人々は、そのように考えると思いますか？

1. 8:29 にあるペテロの発言はマルコの福音書のターニングポイントです。(参照:8:31)ペテロは何と言いましたか？また、なぜこの発言は重要だと思いますか？

2. イエスのアイデンティティが明確になったとき(8:29)、彼はご自

分の使命について説明を始めました(8:31-32)。なぜ、ペテロはイエスをいさめたと思いますか？(参照:8:32-33)

3. マルコは 8:22-26 で二段階で行われた盲人の癒しを記しています。この癒しを通して、盲人は何も見えない状態(8:22)から何かが見える状態(8:24)、そしてすべてが見える状態(8:25)へと移りました。8:27-33 で、弟子たちにはイエスのアイデンティティと使命がどれだけはっきりと見えていたでしょうか？

4. ペテロは「人のことを思っている」とイエスは言いました。では、ご自分の苦しみと死を何と表現しましたか？(8:33)

□ これにより、イエスの使命について、何が分かりますか？

5. 8:29 でイエスは「では、あなたがたは、わたしをだれだと言いますか？」と問いました。あなたはこれに対して、明確に答えを出せていますか？もし出せているのなら、その答えは何ですか？また、なぜそのように思いますか？

聖書の専門用語

サタン：名前の意味が「敵」である、霊的存在。神と神の民とすべての正しいことの敵である。悪魔とも呼ばれる。

贖いの代価：奴隷を解放させるために支払われた身代金。

【聞く】

「人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです」（マルコ 10:45）

メモ

- 1 イエスの十字架での死は、無駄ではありませんでした。
- 2 イエスは弟子たちにご自分が殺されなければならないことを教えました。「贖いの代価として、自分のいのちを与える。」 (10:45)
- 3 イエスが十字架で亡くなる時、全土を闇が覆いました。神は罪を罰するため怒りました。
- 4 十字架でイエスは「見捨てられ」ました。神は罪を罰するためイエスを見捨てたのです。
- 5 イエスは身代わりとして罰を受けました。私たちが救われるよう、私たちの罪を受けるべく罰を受けたのです。
- 6 イエスが亡くなった時、神殿の幕が上から下へ真っ二つに破れました (15:38)。十字架によって、人は神に近付くことが可能となったのです。
- 7 イエスが亡くなるのを見た人はさまざまな反応をしました。
 - 兵士たちは気づきませんでした。
 - 宗教家たちは神への道をもう知っていると思い切っていました。
 - 総督ピラトは群衆の圧力に折れてしまいました。
 - ローマの百人隊長はイエスのアイデンティティに気が付きました。

(15:39)

【話し合う】

□もしあなたのひどい悪事の罰を、誰かが意図的に受けたなら、あなたはどのように思いますか？

□イエスは自分が「多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるため」に来たと言いました(10:45)。これに対して、あなたはどのように応えますか？

□イエスの死に対するさまざまな反応のうち、あなたの反応に最も近いものはどれですか？

フォローアップ

読む内容を理解するために、次の質問を用いてください。最後に、次回話し合いたいことや、質問したいこと、気になる点などを書き込むスペースがあります。

○マルコの福音書 8:30－10:52 を読んでください

(□「人の子」とはイエスが自分を指して言っていることを覚えておきましょう。)

1. イエスは三度、ご自分の死と復活を予言しました。
(8:31,9:31,10:33-34)どのようなことが起こらなければならない、また起こると言いましたか？

2. 8:31 でイエスは「死ななければならない」と言いました。なぜ、死ななければならないのでしょうか？(10:45)

3. イエスに従うことは何を意味するとイエスは言いましたか？
(8:34)

4. イエスが、ご自分の死と復活を予言するたびに、弟子たちの反応や反応の無さをマルコは記しています。(参照:8:32-33; 9:33-35; 10:35-45)弟子たちは、どのように反応しましたか？

8:32-33

9:32-35

□10:35-41

5. マルコ 8:29 で、ペテロはイエスがキリスト(神の選ばれた唯一の王)であることを告白します。しかし、イエスをわきに連れて行き、いさめました(8:32)。ペテロの態度は、イエスを王として扱っていません。

あなたのイエスに対する態度はどうですか？

□あなたの人生のすべてにおいて、イエスが王となることをあなたはどのように思いますか？

今日の箇所(8:30-10:52)から質問はありますか？

しました。

イエスの死によって散り散りになる羊を、イエスはもう一度集めると計画していたことがどこから分かりますか？(参照:14:28; 16:6-7)

4. ペテロはイエスの予言のどの部分に注目していましたか？

□どの部分を無視しましたか？

5. イエスは何度も明確に、ご自分の死からの復活について語りました。(8:31,9:30-31,10:32-34)弟子たちはイエスのこの言葉を理解したでしょうか？理解しなかったのなら、なぜ彼らはイエス

に質問しなかったのでしょうか？(参照:9:32)

聖書の専門用語

異邦人：ユダヤ人ではない人。

ピラト：エルサレムで総督をしていたローマ人。

神の御国：神の選ばれた王(イエス)が神の民を統治しているところ。
地理的な王国ではない。

【聞く】

「あの方はよみがえられました…言われたとおり」

(マルコ 16:6-7)

- 1 イエスは何度もご自分が死後 3 日目によみがえると予言しました
- 2 イエスは本当に死にました。女性たち、アリマタヤのヨセフ、百人隊長、ポンテオ・ピラト、皆イエスの死を疑いませんでした。
- 3 36 時間後、墓の入り口を塞いでいた重く、巨大な岩は転がされていました。
- 4 白い服をまとった青年がイエスの復活を告げました。またイエスが死ぬ前に言った通り、弟子たちがガリラヤでイエスに会うということを伝えました。
- 5 イエスは死後、最低でも 10 回は弟子たちの前に現れました。一度に 500 人以上の前に現れたこともありました。
- 6 よみがえられたイエスを見るのは弟子たちだけではありません。私たちも彼を見るのです。
- 7 復活は、すべての者がいつかよみがえる証拠です。その日イエスが審判となるのです。
- 8 イエスは罪のために死に、罪の代価が払われたことを証明するためによみがえられました。私たちがイエスを信じたとき、私たちのすべての罪は完全に赦されます。
- 9 復活により、私たちは自分たちの死をイエスに委ねることができます。イエスに会う準備はできていますか？

【話し合う】

- 「なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもって

この世界をさばくため、日を決めておられるからです。そして、その方を死者の中からよみがえらせることによって、このことの実証をすべての人にお与えになったのです。」(使徒の働き 17:31)
これを読んだとき、あなたはどう思いましたか？

□あなたはイエスが死から復活したことを信じますか？なぜ信じますか？また信じませんか？

フォローアップ

読む内容を理解するために、次の質問を用いてください。最後に、次回話し合いたいことや、質問したいこと、気になる点などを書き込むスペースがあります。

○マルコの福音書 11:1-33 を読んでください

1. イエスがエルサレムに着いたときの群集の態度はどのようなものでしたか？

2. 旧約聖書の預言者ザカリアは、いつかエルサレム(別名シオン)に子馬にのって入城する方が現れると言いました。(ザカリア 9:9) イエスがこのように入城したことによって、群集はイエスについて何を知りましたか？

○マルコの福音書 12:1-13:37 を読んでください

3. 11:18 と 12:12 で宗教家たちは、どのようにイエスに応答していますか？

7. 数日後、群集の意向が変わり、宗教家たちを先頭にイエスは死ぬべきだと訴えました(15:9-13)。宗教家たちは人々に尊敬され、信仰心が強いはずなのに、イエスを拒絶したことについてどう思いますか？

□ マルコ 11:1-13:37 から質問はありますか？

前回の復習

前回、イエスが復活したことにより、神がイエスの償いを受け入れたこと、死が打ち負かされたこと、またイエスが世を裁くために戻って来ることが証明された学びました。33 ページに前回の短いまとめがありますので見てみましょう。

このセッションではマルコが神が私たちを受け入れることが可能である理由について何と言っているかを見ていきましょう。

恵み



なぜ私たちが神が受け入れられるのか？

【調べる】

- 前回のフォローアップから発生した質問を話し合しましょう。
- マルコ 10:13-16 を見て、下の問いに答えましょう。

1. 今までイエスについて学んできましたが、そこから人々が子どもをイエスのもとへ連れてきた理由を挙げてください。(参照: マルコ 10:13,16.)

2. 弟子たちが子どもたちを追いやった理由については書かれていませんが、その考えられる理由を挙げてください。(9:33-34)

3. マルコ 9:33-37 を読んでください。マルコ 10:14 を読むと、イエ

スが弟子たちを叱ったことが分かります。イエスが憤ったことに驚きを感じますか？

4. マルコ 10:14-15 を読んでください。神の御国に入れるのが言葉通りの「子ども」だけでないことがどうして分かりますか？

5. マルコ 10:16 を読んでください。子どもたちはイエスに認められるために何もしませんでした。イエスのところへ来ただけで、イエスに迎え入れられました。私たちが神の御国に入ることについて、これは何を意味しますか？

【聞く】

「まことに、あなたがたに告げます。子どものように神の国を

受け入れる者でなければ、決してそこに、入ることはできません。(マルコ 10:15)

- 1 もし、神が「あなたに永遠の命を与えるべき理由は何か？」と問うなら、あなたは何と答えますか？
- 2 金持ちの青年はどのようにしたら神に認められるほどの義人になれるかを知りたがっていました。
- 3 私たちは永遠の命を得られるだけの功績を残すことはできません。
- 4 私たちがどのような行いをして、心の病は癒えませんか。
- 5 イエスの復活は、すべての者がいつかよみがえるという証拠です。その日、イエスが審判となるのです。
- 6 しかし、私たちは無償の贈り物として永遠の命を受けることができます。これはイエスの死によって成し遂げられました。「私たちが受けるに値しない神からの贈り物」これが恵みです。
- 7 私たちは、自分が思う以上に罪深く、それと同時に想像を絶するほど愛されているのです。

聖書の専門用語

神の御国:神の選ばれた王(イエス)が神の民を統治しているところ。地理的な王国ではない。

永遠の命:神の御国で、神とともに永遠に過ごす満ち満ちた人生。

【話し合う】

- 「永遠のいのちを自分のものとして受けるためには、私は何をし

たらよいでしょうか。」（マルコ 10:17）
あなたなら、この質問に何と答えますか？

□「あなたは自分が思う以上に罪深く、それと同時に想像を絶するほどに愛されている。」この言葉に対して、あなたはどのように思いますか？

□恵みについて聞き、あなたの神に対する考えはセッション1から変化しましたか？

フォローアップ

読む内容を理解するために、次の質問を用いてください。最後に、次回話し合いたいことや、質問したいこと、気になる点などを書き込むスペースがあります。

○マルコの福音書 14:1-72 を読んでください

1. マルコは、イエスの弟子たちとの最後の夕べと、サンヘドレンと呼ばれるユダヤ教の長老たちによる裁判を記しています。マルコの記事より、イエスの死が間違いや事故でなかったことがどのように分かりますか？

(参照：マルコ 14:12-26,27-31,48-49,61-62)

マルコ 14:12－26

マルコ 14:27－31

マルコ 14:48－49

マルコ 14:61－62

2. イエスは死ぬことこそが、彼の使命だと知っていました。では死ぬことはイエスにとって簡単なことだったのでしょうか？

(参照：マルコ 14:33－36;15:34)

- マルコの福音書 15:1-16:8 を読んでください
- 3. イエスが息を引き取ったとき、街の外に位置する神殿で何が起こりましたか？（マルコ 15:38）

□ 神殿の垂れ幕は大きな「立ち入り禁止」のサインのようなものでした。それは人々が罪により神と切り離されていることを表していました。なぜ、マルコはこの垂れ幕のことを書き留めたのだと思いますか？

- 4. マルコ 14:50 では弟子たちがイエスを見捨てるところが記されています。マルコ 14:66-72 では、ペテロが繰り返しイエスを否定したことが見て取れます。イエスがあれだけご自分の死を予期し、説明したのに、なぜ弟子たちは、このようにふるまったのだと思いますか？
- 5. ローマの百人隊長が十字架刑を担当していましたが、イエスが亡くなったとき彼は何と言いましたか？（マルコ 15:39）

□なぜこのように言ったのでしょうか？これが驚くべきことだとしたら、なぜでしょうか？

6. 恵みとは、神が私たちに対して、受けるべき仕打ちとは正反対のことに与えることです。受けるに値しないのに受ける贈り物です。ペテロは三度もイエスを否定しました。（マルコ 14:66-72）。マルコ 16:7にある言葉をペテロが受けたとき、彼はどのような気持ちになったのでしょうか？

□イエスがペテロに表した恵みは、イエスが私たちに与える恵みの性質を表します。イエスが与えるこの贈り物にあなたはどう反応しますか？

□マルコ 14:1-16:8 から質問はありますか？

前回の復習

前回、神は私たちが何かを成し遂げたからではなく、イエスが成し遂げたことにより、私たちを受け入れたことを学びました。これこそが私たちが受けるに値しない贈り物—恵みです。40 ページに前回の短いまとめがありますので見てみましょう。

このセッションでは、耳を澄ませて聞くこと、謙遜を持って求めること、知恵を持って選ぶことの意味することは何かを見ていきましょう。

アウェー・デー 1:種まき

耳を澄ませて聞く

【調べる】

マルコ 4:1-9,13-20 を見て、下の問いに答えましょう。

1. たとえ話とは、深い真理を伝えるためのものです。このたとえ話の各部分は何を表しているのでしょうか？

(参照：マルコ 4:13-20)

農家

種

道ばたが表す人

岩場が表す人

いばらは生活の中で何を表すでしょうか？

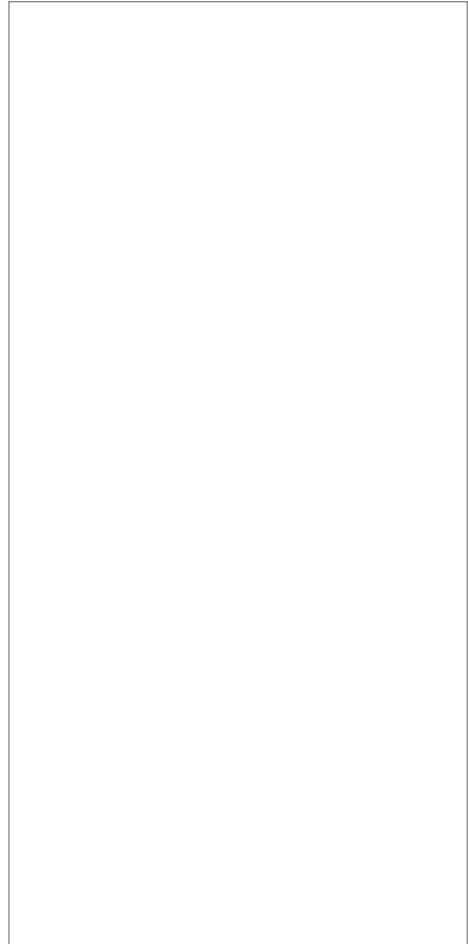
どのようにして良い土である人を見分けることができますか？

【聞く】

「そしてイエスは言われた。『聞く耳のある者は聞きなさい。』」

(マルコ 4:9)

- 1 イエスについての良い知らせは、正しい聞き方をする者の人生のみを変えます
- 2 このたとえば良い知らせに対する4つの反応を表します。
 - i. サタンは福音をあなたから奪おうとする盗人のようです。
 - ii. ある人は、イエスに従う代価を思い、イエスに従うことを諦めます。
 - iii. ある人は、イエスに対する情熱より、他のものに多くの情熱を注ぎます。
 - iv. ある人は、イエスが至上最高の宝物だと理解します。
- 3 福音は聞いて行動する者であれば誰の心へでも届くだけの力を持っています。



聖書の専門用語

たとえ話:霊的な意味をもつシンプルなお話

【話し合う】

今までコースを通して見てきたことを思い起こしてください。いくつかの言葉があなたから取り去られてしまったと思いますか？

どの土が一番あなたに当てはまっていると思いますか？

アウエー・デー2: ヤコブとヨハネ

謙遜を持って求める

【聞く】

「イエスは彼らに言われた。『何をしてほしいのですか。』」

(マルコ 10:36)

- 1 神が「何をして欲しいのですか」と聞いたなら、あなたは何を求めますか？
- 2 ヤコブとヨハネは名声と力を求めましたが、イエスはより高価なものである「ご自分」を与えました。
- 3 イエスに従うことは地位でなく仕えることを意味します。
- 4 満足感や満たしは、地位などを求めることによって得るものではありません。神から与えられるものです。
- 5 人は神よりも他のものを大切にします。神が創ったものを神の変わりとするこの行為は偶像礼拝であると聖書は言います。
- 6 バルテマイはイエスを「ダビデの子」と呼び、あわれみを請い、あわれみを受け、イエスに従いました。
- 7 あなたはイエスに何を求めますか？

【話し合う】

□あなたはヤコブとヨハネ、もしくはバルテマイの誰に最も共感できますか？それはなぜですか？

□あなたはイエスに何をして欲しいですか？

聖書の専門用語

栄光:非常に高貴な地位、立場

ラビ:ユダヤ教の教師

アウエー・デー 3:ヘロデ

知恵を持って選ぶ

【聞く】

「王は非常に心を痛めたが、自分の誓いもあり、列席の人々の手前もあって、少女の願いを退けることを好まなかった。」

(マルコ 6:26)

- 1 私たちの選択が私たちを造ります。
- 2 ヘロデ王はバプテスマのヨハネを牢にいれるよう命じました。
- 3 ヘロデはヨハネの話を好んで聞きましたが、悔い改めませんでした。
- 4 ヘロデは、ヨハネがヘロデアについて話したことに対して行動を起こしませんでした。そのため最終的にはやりたくないことを強要され、ヨハネを殺しました。
- 5 私たちがイエスの話を聞き、真剣にその言葉をとらえたとき、友や家族に拒絶されることがあります。しかし、愛に結ばれた信仰の家族が支え、励ましてくれるでしょう。
- 6 イエスに従うことはさまざまな迫害をもたらすかもしれませんが、驚くほどの祝福と喜びがあるとイエスは約束しています。
- 7 悔い改めてイエスに着いていくことを無視すると、周りの賛同は得られるかもしれませんが、それは最後に私たちに対するイエスの拒絶を招きます。

【話し合う】

□バプテスマのヨハネを殺すことについて、ヘロデはどのように感じたと思いますか？（参照：マルコ 6:20,26,その後 6:16）

□マルコは「良い機会が訪れた」（マルコ 6:21）と記しています。ヘロデヤはこの機会をどのようにして用いましたか？（参照：マルコ 6:19,24）

□ヘロデはどのような機会を失ったのでしょうか？

□ヘロデはどのような土でしょうか？（参照：マルコ 4:15-20）

□ 「私たちの選択が私たちを造る」という言い回しがありますが、ヘロデにとって、これはどのように成されたのでしょうか？

このコースを通して学んできたことについて、あなたはどのような選択・決断をしますか？

前回の復習

アウェーデーを通して、なぜ神の言葉に耳を傾け、謙遜を持って慈しみを求め、知恵を持って選択しなければならないのかを学びました。46,48,50 ページに前回の短いまとめがありますので見てみましょう。

この最後のセッションでは、イエスに従う意味を見ていきましょう。

来て死ぬこと

イエスに従うことは何を意味するのか？



【調べる】

- 前回のフォローアップから発生した質問を話し合しましょう。
- マルコ 1:14-15 を見て、下の問いに答えましょう。

1. このコースを通して良い知らせを学んできました。マルコ 1:14-15 に、二度もその言葉が出てきます。さて、良い知らせを理解するには、まず「悪い知らせ」を理解しなければなりません。
。

次の箇所によると、「悪い知らせ」とは、何でしょう？

マルコ 7:20-23

マルコ 9:43-47

マルコ 10:26-27

2. 「イエスは...福音を宣べて言われた。」(マルコ 1:14)

今までのセッションで学んできたことを思い起こしながら、福音・良い知らせとは何であるかを考えましょう。

□ イエスはなぜ来たのか？

□ イエスはなぜ死んだのか？

□ イエスはなぜよみがえったのか？

□ 神はどのようにして私たちを受け入れることができるのか？

3. 「悔い改めて福音を信じなさい。」(マルコ 1:15)

「悔い改め」とは、今向かっている方向とは真逆に方向転換するこ

とを意味します。また「福音」を「信じる」とは、それに沿って行動すること、それを基盤に人生を建て上げることを意味します。

あなたにとって、それは具体的にどういう変化になると思いますか？

聖書の専門用語

変貌：イエスの姿が変わることにより、弟子たちが彼の栄光の一部を見たことを表す。

【聞く】

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自

分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

(マルコ 8:34)

- 1 弟子たちはイエスの力と権威を見ながらも「いったい何者なのだろうか？」と戸惑いました。
- 2 イエスは盲目の人を段階を踏んでいやしました。
- 3 盲目の人の段階的癒しは、弟子たちの段階的理解と似ています。
- 4 ペテロはイエスが「神に選ばれた唯一の王」であることを悟りました。
- 5 しかし弟子たちの見解は完全に癒されてはいません。イエスが誰であるかは理解していましたが、イエスがなぜ来たのか、またイエスに従う意味とは何かを理解していませんでした。
- 6 イエスに従うこととは、自分を捨て、自分の十字架を担うことを意味します。
- 7 自分の命を救いたいのなら、それをイエスに委ねなければなりません。
- 8 本当にキリストに従う人とは、従う代価をはっきりと理解しており、それでもそれに比べられないほどにイエスが素晴らしいことを知り、喜んで従う人のことです。
- 9 これらのことを見たとき、あなたには何が見えますか？
 - ・ イエスのアイデンティティ（単なる良い人ですか？それとも神の子キリストですか？）
 - ・ イエスの使命(イエスの死は失敗ですか？それとも救いですか？)
 - ・ イエスの招き（それはいのちを失うことですか？それともいのちを得ることですか？)

【話し合う】

- 「人は、たとえ全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありません。」(マルコ 8:36)

この質問にあなたなら何と答えますか？

□あなたはイエスとイエスの言葉に恥を感じている部分がありますか？もしあるなら、それはどのようなことですか？(マルコ 8:38)

□以下の言葉にあなたはどのような点数をつけますか？
(全く信じないは「0」、本当だと確信は「10」)

- ・ イエスはキリスト、神の子である

0 _____ 10

- ・ イエスは私を罪から救うために来た

0 _____ 10

- ・ イエスに従うこととは、代償がなんであれ、自分を捨て、イエスを第一とすることである。

0 _____ 10

最後に：

「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい」マルコ 1:15

マルコの福音書は信頼に当たるだろうか？

誰が、いつ、なぜ書いたのか？

マルコはイエスの弟子であったペテロの親友であり、旅の仲間でした。

た。ペテロは「使徒」(イエスの人生、死、よみがえりの目撃者として召された者)でした。ペテロは1世紀にその時代のクリスチャンへ、二つの手紙を書きました。その1つでこのように言いました。”**また、私の去った後に、あなたがたがいつでもこれらのことを思い起こせるよう、私は努めたいのです。**”(2ペテロ 1:15)
これは、イエスについて目撃したこと、知っていたことを指して言った言葉です。彼はこれらのことをマルコなどに伝えました。紀元60年代にペテロは亡くなりました。この頃にマルコが福音書を書いたという証拠が多数あります。

マルコもペテロと同様、後の時代の人々にイエスについての良い知らせを伝えるため、それらを書き記しました。福音書の最初に、彼の本の主題が載っています。”**神の子イエス・キリストの福音のはじめ。**”(マルコ 1:1)

イエスは死に、よみがえり、紀元30年頃に天に昇りました。マルコはこれらの出来事の30年後にこの本を書いたのです。マルコが書いた事柄を目撃した人々がまだ多く生きている時代です。マルコは正確に書き記す必要がありました。なぜなら目撃情報とマルコの記載に矛盾があれば、信憑性がなくなってしまうからです。

マルコの福音書は時間とともに変化したか？

今、手元にあるマルコの福音書と初めにマルコが書いた原本とは、どれだけの違いがあるでしょうか？

原本はもう存在していないので、今あるものと比べることはできません。しかし、古代の書物ではこれが当たり前です。なぜなら、原本はパピルスや羊皮紙に書かれており、時間とともに腐ってしまうからです。そのため歴史学者は、次の基準で書物の信憑性を計りません。

- ・ 古代コピーの古さ
- ・ 原本が書かれた時期と、今存在する最も古い書物が書かれた時

期とにどれだけの時間差があるか

- ・ どれだけの古いコピーが発見されたか

下にある表は、有名な古代文章三冊、新約聖書、マルコの福音書が上記の三点において信憑性があるかどうかを表しています。

	オリジナルが書かれた時期	現存する一番古いコピー	オリジナルから古いコピーが書かれるまで期間	現存する古代コピーの数
トゥキディデスによる「戦史」	紀元前 431－400 年	紀元後 900 年と 1 世紀の断片数種	1300 年	73
カエサルによる「ガリア戦記」	紀元前 58－50 年	紀元 825 年	875 年	10
タキテウスによる「同時代史」と「歴代記」	紀元 98－108 年	紀元 850 年	750 年	2
新約聖書全巻	紀元 40－100 年	紀元 350 年と無数の断片	310 年	14,000(ギリシヤ語 5000、ラテン 8000、他の言語 1000)
マルコの福音書	紀元 60－65 年	3 世紀と無数の断片	240 年	

この表から分かるように、現存するマルコの福音書のコピーで最も古いものは原本の 240 年後に書かれました(他の書物と比べると短い時期です)。また古代に作られたコピーが 14,000 冊もあり、今それらを元に訳されているということは、私たちの手にあるマルコの福音書が、マルコが書いた当時のものと変化していないことの根拠となるでしょう。